

日本学術会議 情報学委員会 シンポジウム 震災直後および復興期における 情報学の役割

開催概要

- 主 催 日本学術会議 情報学委員会 ユビキタス状況認識社会基盤分科会
- 共 催 東京大学 大学院情報学環 ユビキタス社会情報基盤研究センター
- 後 援 情報処理学会、電子情報通信学会、日本建築学会（予定）
- 日 時 平成 24 年 6 月 29 日（金）13：00～16：30
- 場 所 東京大学 福武ホール B2 階 福武ラーニングシアター
(http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_14_03_j.html)

■開催趣旨

昨年 3 月 11 日の東日本大震災は、我が国に甚大な被害を与え、災害に強い社会基盤の構築や避難情報・防災システムの再考を促すとともに、学問分野のあり方にも重大な問題を提起した。とくに、震災直後の情報不足や、情報利用に伴うプライバシーの問題、各種予測情報の評価と公開の是非などの問題が生じたことは、情報学にとって大きな課題を残したと言える。これらの問題や課題を総括し、今後の震災復興や防災のために情報学が果たし得る役割を学術的に議論することは、日本学術会議に課せられた大きな使命である。そこで日本学術会議情報学委員会では、社会基盤としての情報整備と状況認識の重要性を再確認し、今後の情報学の展望を行うことを目的として、本シンポジウムを開催する。

■申込方法

氏名・所属・連絡先をご記入の上、symposium_scyj@sakamura-lab.org までメールでお申し込みください。申込受付のお返事はいたしません。定員が超過しお断りする時のみご連絡いたします。事前申込がない場合でも、当日会場に余裕があればご参加いただけます。

お申し込みの際にご記入いただいた個人情報につきましては、本シンポジウムの参加者管理の目的以外には使用いたしません。

■プログラム（予定）

※ プログラム・記載内容については、変更になる可能性があります。

13:00	開会
13:00～13:03	開会挨拶 喜連川優（東京大学 生産技術研究所・教授・第三部会員・情報学委員会副委員長）
13:03～13:25	講演1 坂村健（東京大学 大学院情報学環・教授・第三部会員・情報学委員会ユビキタス状況認識社会基盤分科会委員長）
13:25～13:40	講演2 徳田英幸（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科・教授・連携会員）
13:40～13:55	講演3 萩田紀博（株式会社国際電気通信基礎技術研究所 知能ロボティクス研究所・所長・連携会員）
13:55～14:10	講演4 野城智也（東京大学 生産技術研究所・教授・連携会員）
14:10～14:25	講演5 嶋谷吉治（KDDI 株式会社 取締役執行役員専務 技術統括本部長）
14:25～14:40	休憩
14:40～16:30	パネルディスカッション コーディネータ： 坂村健（東京大学） パネリスト： 萩田紀博（株式会社国際電気通信基礎技術研究所） 野城智也（東京大学） 嶋谷吉治（KDDI 株式会社）
16:30	閉会

■会場アクセス



会場 東京大学本郷キャンパス福武ホール

住所 東京都文京区本郷 7-3-1

最寄り駅

都営大江戸線・本郷三丁目駅（徒歩7分）

東京メトロ丸ノ内線・本郷三丁目駅（徒歩8分）

東京メトロ千代田線・湯島駅（徒歩20分）

東京メトロ南北線・東大前駅（徒歩10分）